

埼玉県議会議員(大宮区)

No.011号

藤井たけし

県議会 レポート



人口減少社会への備えを 「選ばれる都市」づくりから

一人ひとりに 寄り添える政治を

政治の役割は、将来に夢や希望を持てる社会を創ること。また、弱きところには光をあて、努力が報われる社会を創ることなどで、一人ひとりに寄り添う医療、福祉、子育て、教育などの充実はとても重要な政策です。

いま元気な市や県が 直面する大きな課題

人口が増え続けるさいたま市の「住みやすい」は84・2%。「住み続けたい」は86・1%で過去最高(H30)。県の視点で見ても、人口増加率は全国47都道府県で東京について第2位。企業の本社転入は過去10年で日本一の

861社です。

しかし、いま元気なさいたま市や埼玉県でも、やがて人口減少という大きな課題に直面します。特に働き手が減ることは、自治体歳入の減少を意味し、公共サービスも減らすしかありません。そんな

ならないと考えます。新幹線6路線を含む東日本の対流拠点である大宮の発展は、市のみならず県にも東日本にも好影響を創り出します。課題はたくさんあります。大宮駅の機能充実と周辺のまちづくり。治安の向上。観光力の強化ほか課題は山積しますが、子育てに優しく、安心して老後も暮らせるまちを国、県、市の強力タッグで創ってまいります。

重要な視点となってきます。いまを生きる私たちが安心安全で、更に誇りと自信を持てるまちのため、将来を担う子どもたちの笑顔のため、お一人おひとりの「声を力に」、「期待から信頼へ」を胸にこれからも邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻をお願いいたします。

選ばれる都市(まち)へ

災害に強いこと、充実した交通網、誇れる歴史伝統文化。こつた強みを活かしながら、大宮だからこそできるまちづくりを進めていかなくては



真ん中、低め、トライク
大宮区民ソフトボール大会 始球式にて

埼玉県議会議員
藤井たけし[プロフィール]

1975年(昭和50年)生まれ A型 うさぎ年
日本大学文理学部卒業

【現在】埼玉県議会議員(大宮区・南第5区)
1期目・警察危機管理防災委員会、自然再生・循環社会対策特別委員会

【経歴・資格】参議院議員元公設第一秘書・
上田清司埼玉県知事元事務所長・清水勇人
さいたま市長元政務秘書・大宮南小学校、大
宮南中学校PTA元会長・青少年育成会元役員・
社会福祉協議会(大宮区)元理事・明日のさい
たまを創る会副会長・埼玉県認知症サポーター
さいたま市防災アドバイザー・国会議員政策
担当秘書・防災士など

【家族】妻、娘【好物】カレー、納豆、辛い物
【好きなこと】読書、運動(サッカー、ラグビー)
現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中

「住みやすい 働きやすい 訪れやすい まちづくり」で大宮の魅力アップ

稼ぐまち・訪れやすい大宮を創る

- 国際レベルのコンベンション施設、宿泊施設の整備と企業誘致
- 芸術・教育面のレベルアップと大宮、埼玉のイメージアップ
- 観光の力を伸ばす(埼玉版DMO:市町村連携強化、民の手法導入)
→経済・雇用・郷土愛の増大



大宮を国際的にシティーセールス

地域をつなぐ社会基盤の整備

- 慢性的な渋滞(環境悪化・経済損失)を好循環へ(企業立地、雇用促進、災害対策)
- 首都高速の圏央道までの延伸(新大宮上尾道路)→与野JCTから桶川北本ICまでの延伸整備促進
- 首都高速の東北自動車道まで延伸(埼玉新都心線)→見沼出口を延伸し、東北自動車道へ



「安心安全のまち」を

- これまでの取り組み
- 暴力団排除条例の強化
- 埼玉県青少年健全育成条例の一部改正
- 虐待禁止条例の制定
- 特殊詐欺の撲滅→条例制定作業中
さらに全力で取り組んでいきます。



人口減少への備えとして
「選ばれる都市」づくり

このことが医療・福祉・子育て・教育の充実のために必要な税収を確保し、さらに住みやすいまちづくりを進めていきます。
[詳しくは裏面へ]

将来を担う責任！挑戦する勇氣！